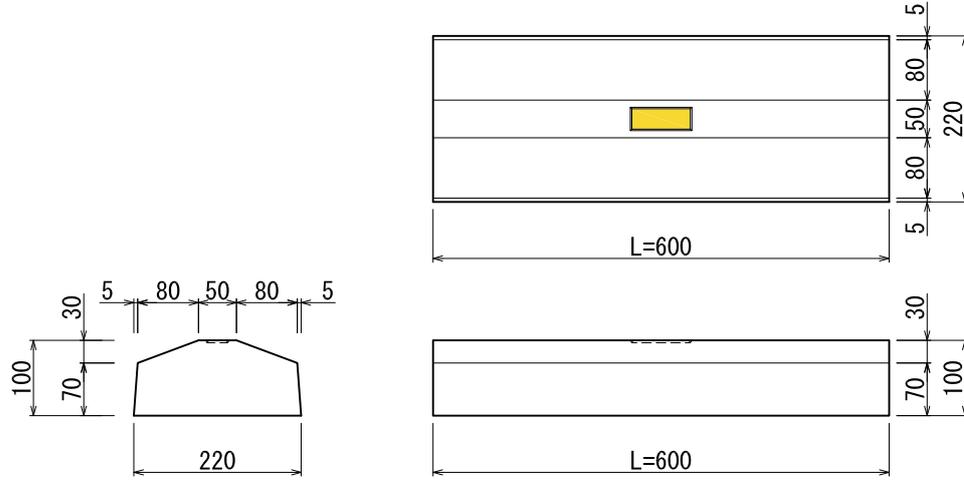


# 注意喚起型水止めブロック AWS30-L600 形状図

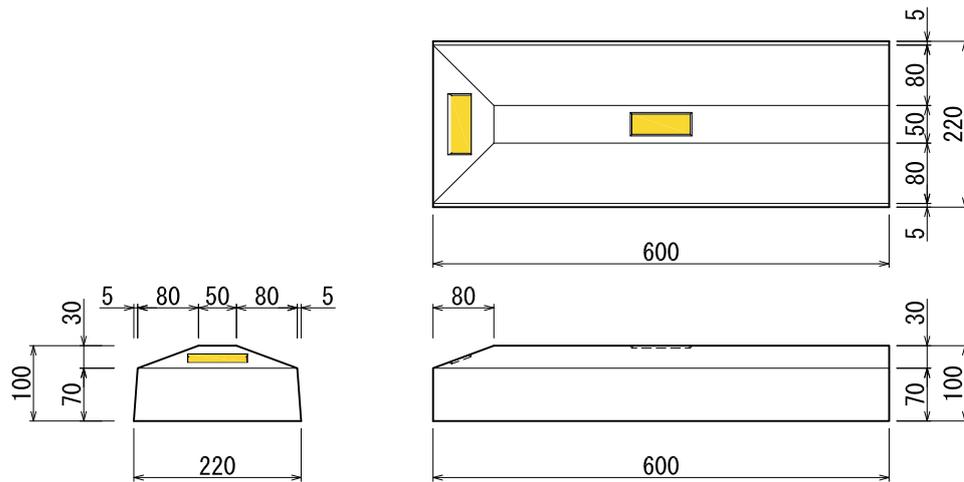
S=1:10 (A4版)

## AWS30基本-L600



参考重量 27kg/本

## AWS30端末-L600



参考重量 26kg/本

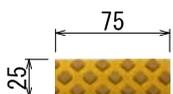
設置イメージ(反射材無し)



設置イメージ(反射材有り)



反射材 S=1:5



※反射材は付属品となります。

※反射材の貼付け場所はコンクリート面が窪んでいる部分です。

※反射材は両面テープになっていますので、貼付面の掃除後、貼り付けをお願いします。

# ≪ AWS 30 (水止めブロック) 反射材の貼り付け方 ≫

## 貼り付け位置の確認(基本)



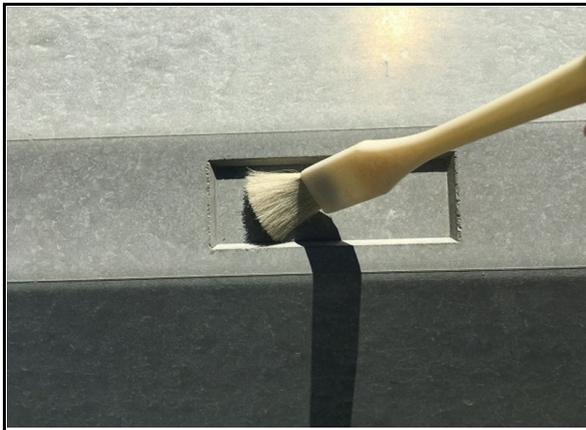
中央の窪みに反射材を貼り付けます。  
反射材の最低貼付温度は5℃となっております。  
気温が5℃以上の時に作業を行ってください。  
表面が乾燥した状態で作業を行ってください。

## 貼り付け位置の確認(端末)



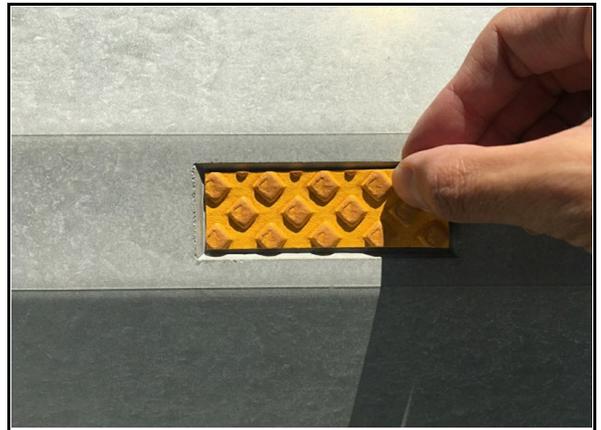
端末の場合、中央だけでなく端部の窪みにも  
反射材の貼り付けスペースがあります。  
反射材の大きさは75mm x 25mmで、基本と端末  
は同じ大きさです。

## 貼り付け部分の掃除



窪みに溜まった砂やほこりを掃き出し、  
表面の汚れをよく落としてください。

## 位置合わせ・貼り付け



反射材から白い剥離紙を剥がし、窪みの底の  
平らな面に貼り付けます。  
窪みから反射材がはみ出さないよう、反射材  
の位置にご注意ください。

## 反射材の圧着



上から強く押さえ、しっかり圧着して下さい。

## 貼り付け完了



作業完了。  
正しく接着された反射材は強力な接着力を発揮  
しますが、より強固に接着する場合は状況に応じ  
て接着剤の使用をご検討ください。